



日本共産党・そねはじめレポート とうきょう民報おりにこみ版

2011年 10月5日発行 第 15 号

そねはじめ事務所
114-0032
北区中十条2-11-6
Tel: 3907-1135
Fax: 3906-3225

「長生きするなら北区が一番」のモデルになった桐ヶ丘なのに 都の建替えて自動車道路はゆったり通り、住民は窮屈に

●10月11日が意見書のしめ切り

9月の区議会に、桐ヶ丘団地再生計画の後期計画について説明されました。桐ヶ丘団地建替えが始まったのは15年前。5千戸の団地を24年で再生する計画で、いま前期から後期にさしかかっています。共産党さがらとしこ区議は花川区長に、後期計画案について改善要望を提出しました。

●前期で特養ホーム、保育園、児童館実現したが、後期は様変わり

前期建て替えでは、住宅と共に児童館・保育園・デイホーム、さらに特養ホームやまぶき荘を実現させました。後期計画案は、前期に比べ居住者をより狭い地域に押し込めながら、一番の中心部に自動車道路を優先して通す計画に変わっています。

●自動車優先道路見直し、区民施設と 地域交流の広場を

この道路を迂回させるなど工夫すれば、やまぶき荘や児童館と新たな区民施設の間に大きな広場ができ、地域の様々な交流が可能になるのではないのでしょうか。

石原都政による都営住宅の建設ストップ・建て替えて住宅を狭くしていくやり方をくい止めて、住みよいまちづくりに全力をあげます。



新法制定が遅れ百床増床が難しくなった社会保険病院

国の公的存続法成立受け北社保病院が60床増やす計画

◆他に2病院がベッド増やすため、不当な医療規制で 100床増やす計画が困難に

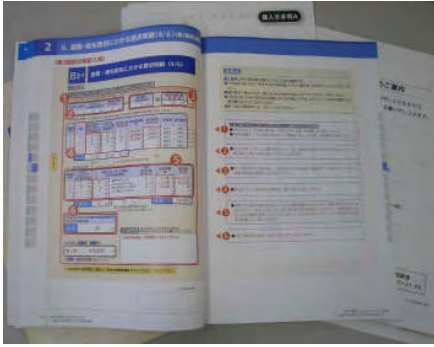
6月の国会でようやく成立した社会保険病院・厚生年金病院の公的存続の受け皿となる「地域医療機能推進機構」法を受け、この間、北社会保険病院もかねてからの周産期医療・NICUと救急医療充実等のためベッドを増やし病棟を増築する計画が動き出しました。

◆ベッド規制の残り200に3病院が“競合”

ところがこの間同じ医療圏で練馬の光が丘病院問題など医療情勢は不安定。ほかにも2病院がベッドを増やす計画があり、不当な一般病床規制にぶつかってしまいました。都の規定であと200ベッドしか増やせない医療ベッドを3病院で均等割りするという措置で社保病院は60増床止まりになりそうです。

◆病院の足りない北区・練馬区に特別緩和を

同じ医療圏で板橋・豊島は病院が多く、北と練馬は足りません。ベッド規制の数自体が少ないのですから、北区と練馬区には特別のゆよ枠を設けるか、行き過ぎた入院ベッド規制を緩和するよう頑張ります。



東北被災地支援 第6次ボランティアを 10月24(月)~25(火)に派遣 支援物資はお米、冬の 生活用品を

5月から9月まで6回にわたり北区の共産党から東北の支援・調査に出かけ、ボランティアも第5次まで派遣してきました。

10月は24~25日に、一泊二日で訪問します。無料配布でいちばん喜ばれているのは、お米と冬物です。ご協力頂けそうな方は是非、そねはじめ事務所までお問い合わせ下さい。

●「東京電力の被害者対応がひどすぎる」など切実な声を聞き相談にのります

先日、区内の保育園で働くHさんから福島の実家の被害とご両親が避難してきていることを聞き、東京電力の被害補償についての分厚い文書を見せてもらいました。(写真上)「補償額を請求しにくくさせるためにわざと分厚くしている」との感想はまさにその通りでした。被災者の自由記入欄を増やせば細かい書き込み指示は相当省略できるはずです。被災者の方や友人親戚の方のご相談もお気軽にお寄せ下さい。

●区議団主催の内部被爆問題学習会

*10月11日18時半・講師松井英介氏(岐阜環境医学研所長)

*11月23日午後1時半・矢ヶ崎克馬氏(琉球大名誉教授)。

そねはじめ交友録<その九> 「曾根は指導力がある」と語った W先生と北区で驚きの再会!

北九州の小学校を卒業と同時に父の転勤で東京都の文京2中に入學。一番格差を感じたのが体育でした。

ドッジボールしか知らない私に学級仲間がテニスやバスケットを教えてくださいましたが、ついて行けず泣いてしまいました。悔しいので一人で放課後練習する姿を見ていたのか体育教師のW先生が「曾根はバスケットのドリブルシュートを懸命に練習した。しかも指導力があるから体育は5だ」と言うのです。背も低く、運動神経も鈍かった私は面食らいました。以来体力測定でも体育祭でも全く普通の私がなぜか3年間体育は5でした。今なら大問題になるでしょう。

20年後に区議に初当選し、北区体育協会の会合でばったりW先生と再会。ずっと北区在住で中学校教師のかたわら北区ではスポーツクラブ育ての親でした。

「おれの言ったとおり曾根君は指導力を発揮して議員になったろう。何党でもいいから曾根君らしくがんばってくれ」と励まされました。

W先生からおそわった一番大切なことは、人を育てる上で最も力を発揮するのは、本人がここをがんばろうと思っていることを徹底して励ましほめる事だということです。おそらくW先生のやり方は当時でも周囲の先生方や教育委員会から疎まれたかもしれませんが、私自身はそのおかげでスポーツに熱中し3年間で約30センチも身長が伸びるほど成長しました。

文京2中1年初の遠足で。左端がそねはじめ、右端がW先生。この時は20年後の再会など想像もしませんでした。

